

長和町

東京農大

「山村再生プロジェクト」

コンコードのソース作り
など行う

長和町の古町・長久保・大門地域でこのほど、3日間に渡り東京農業大学の「山村再生プロジェクト」自習が開かれた。同プロジェクトは長和町と東京農大が協働で実施。今年の4月から毎月行われ、今回が7回目だ。

「学生」と「地域」それぞれの立場で、長和町での実習を通じ地域再生や活性化、学生の人材育成などを行うプロジェクトとなっている。「質の

高い大学教育（教育G.P）事業完了に伴い、新たな躍進を求めて始まったもの。

今回は東京農大の立岩寿一教授と23人の学生が訪れ、初日には「食文化活用実習」をテーマに、古町のアグリほ場で作業収穫をし、立岩構造改造センターでコンコードやシャルドネのソース作りを行った。また2日目は「遊休荒廃農地再生実習」をテーマに稲刈り、脱穀を実施。またレンゲ、菜の花、小麦の播種や7月に播種したそばの収穫を行った。

最終日は「地域再生プロジェクト実習」をテーマにワークショップ。体験した学生は「地域の人にいろいろ教わり楽しい」と話す。立岩教授は「授業を聞くだけでなく、体験を通じて学ぶことは大事。地域活性化に繋がるようにしていきたい」と話していた。



コンコードのソース作りをする学生